

理事長…浅川 勤 理事6名 評議員7名 監事2名 法人事務局長 田中 彰

◆**重点目標 理念**「障がいのある方々が地域で自分らしく安心して暮らし、安心して働ける、温かい地域作りをしていきます。」の実現を目指し、利用者、家族、社会のニーズに応えるために、2021年度は以下の重点目標を実施する。また、第2次中期計画（2019～2023）の3年目にあたる。

項目	課題
サービス向上	1. 滞在型グループホームと短期入所（ショートステイ）開設 2. コロナ感染を防ぐための安全管理の徹底 3. 食品の安全衛生と清掃・除草作業の安全管理の徹底 4. 就労系事業 生活支援力向上とともに作業品質向上への継続的取組 5. 感染症と災害対策 業務継続に向けた計画等の策定と研修 6. 虐待防止への取組 虐待防止委員会実施、2022年度法人研修実施
安定経営	1. 収入－20年度の1日平均の利用者数の1%アップを目指す。 2. 田中町移転 2022年度の建設を目標に補助金申請を行う。 3. 食工房のエアコン更新 2022年度実施を目標に準備を進める。 4. 70歳まで働ける制度づくり
人財育成・教育	1. 職場環境改善 職場環境懇談会で提案されたことに取り組む ①利用者との関わり方の基礎学習の場を持つ。 ②管理者は現場の職員の働き方を把握するとともに、職員の気持ち考えを把握する機会を持つ。 ③職員全員が経営意識を持てる機会を持つ。 ④感染症対策等緊急時の対応を明確に示す。 ⑤グループホームと相談支援事業所共有の車両をもてるか検討する。 2. 教育 ①法人主催研修と職員主催研修を1年ごとに交代で行う。2021年度は法人主催研修を実施する。 ②合同職員会で研修の報告の時間を持つ。 ③役職に応じた研修とサビ管研修受講を進める。 ④希望の外部研修参加を応援する。 3. 未来への取り組み 1) 就労系事業 目的別事業所の配置という考え方の検討。作業種の適正数の検討。2) 入職年数にとらわれない実力に応じた給与と職務の実施。（参考）評価軸－支援力・事務力、チームを生かす力とリーダー力、業務遂行できる体力と知力と取組態度、将来の経営を考える力
その他	1. 情報公開 ホームページと通信により行う。活動報告会はコロナ感染が終息しない場合を想定して、「写真展示とHP上での写真公開」とする。コロナ感染が終息した場合は、2022か2023年度に森川先生の講演会を実施する。 2. 感染症が終息したら2022年度に全メンバーが集えるイベントを実施する。 3. 施設内の整理整頓と清掃を心がける。

◆法人本部業務

1. 理事会・評議員会業務

・理事会 6月事業報告・決算・次期役員案、理事長選定 12月上半期収支点検 3月事業計画・予算

- ・評議員会 6月決算・事業報告と事業計画・予算・次期役員選任
- 2. 法人全体事務のとりまとめ 社会保険事務(社保・労働保、36協定、産休育休)、保険(賠償責任・傷害・車両)のとりまとめ、会計/積立と共通経費、給与振込、納税、退職共済手続き、労働者名簿管理
- 3. 理念、中期計画、中長期修繕計画と積立計画、規程類の見直しと管理、福祉を取り巻く情報収集
- 4. 職員交流、人材育成、教育、職員採用事務
- 5. 指導検査と福祉サービス第三者評価による事業点検
- 6. 関係団体への参加 ①昭島市障害者(児)福祉ネットワークと精神部会 ②昭島市自立支援推進協議会および地域支援協議会部会 ③じゅさんれん・東社協精神保健福祉連絡会 ④セルフ
- 7. 情報発信(活動報告会・通信発行・ホームページ更新)
- 8. 賛助会事務 グループホームと共同で行う
- 9. 虐待防止の取組 研修、虐待防止委員会開催、全職員対象のアンケート調査実施、苦情解決制度
- 10. 経営状況管理(収益の状況、将来のための投資、借金が多すぎないか、職員数は適正か)
- 11. IT環境の保守管理
- 12. 財務諸表等電子開示システム入力、社会福祉充実計画作成、WAM情報公開システム更新